

公表:令和5年 3月 31日

事業所名 ヨシア(グリーン)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広いスペースで活動できるので、利用者さんに合わせた構造が作りやすいです。	活動内容ごとで、テーブルを動かすときに、構造化を月ごとに検討するようにしています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			パートさんの意見を聞くために、パートさんの要望を聞くようにしています。	パートさんの勤務終了のときに振り返りをしようと考えています。難しいときは、電話やメールで聞くようにしています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			面談等でいただいた、ご要望を活動に取り入れるようにしています。	冬の室内活動では、卓球を楽しむにしている意見があったので、常時設定するようにしました。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果は、公開をしています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎週月曜日の他、勤務年数、職種などのグループでたくさん設定しています。	研修の時間帯が合わない職員は、録画を見るなどのフォローをしています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			クラス会議や毎日の療育を通して設定をしています。	ケースカンファレンスを通して、効果的に一日の療育活動を過ごせるように計画を立てています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの希望を聞き、取り入れられそうなものを活動内容を精査して行っています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			行っています。個別対応、集団対応ができるよう、体制を整えています。	例えば、外活動の時間ではマンツーマン対応を行い、学習の時間は集団で行うことをしています。
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○					

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録の仕方に、客観的な視点で記すようにしています。	CSPの「見せて話す」の方法で、記録を記入しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングを定期的に行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前の事業所と一緒に情報交換の場を設けて、相互理解に努めています。	家族支援会議を開き、幼児、学童の担当職員が集まって、家族の方向性を話あっています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			法人内の学童、成人事業所と支援内容等の情報共有をしています。	進学するときはもちろん、家族支援会議でも、各事業所が集まって、ケース検討を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			他事業所の専門機関との行っています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				行っています。個別の相談のときや、グループカウンセリングのときに、CSPを用いて行っています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その都度、相談があったときに、助言と支援を行っています。	必要なときは、家庭訪問をして、支援をしています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			必ず、鍵のかかる書庫へ保管しています。	鍵の場所も、設置場所を配慮しています。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルの策定、周知を行っています。	周知しやすいように、部屋の入り口に印刷して設置するようにしています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に一度以上、避難の練習をしています。	地震、火災、水害など、内容を変更し、避難の仕方を変えています。また、直接避難予定地まで訓練することがあります。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎週、一回以上虐待防止の練習をしています。また、虐待情報の共有をその都度しています。	法人内で、毎回虐待の情報を共有し、予防を繰り返し行っています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			毎回提供する際に、少なくとも3回はチェックしています。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。